

えりこ (東区) 2013.6

# しのだ江里子市政だより

札幌市議会  
民主党・市民連合

〒060-0001  
札幌市中央区北1条西2丁目札幌市役所17F  
TEL(011)211-3212 FAX(011)218-5121

No.20



## ゆるぎない想いささえあいの東区

今春はいつになく冬の名残の寒い日が続きましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

桜の開花も大幅に遅れ、子ども達が楽しみにしていたゴールデン・ウィークもすっきりとした天気には恵まれませんでした。円山動物園では、白くまララが出産した双子の小熊達のしぐさに、多くの市民や観光客が癒されていました。

3月28日に閉会した、第1回定例市議会では、2013年度一般会計予算案、**議会基本条例**、「原発に依存しない社会の実現と再生可能エネルギーの利用拡大を求める意見書」、「TPP交渉参加に関する意見書」などを可決しました。また、例年を大きく上回った積雪のため、除雪費は当初予算から三度の追加補正を行い合計212億円の予算となり、**公契約条例**は引き継ぎ継続審議扱いとなり2013年度に持ち越されました。

新年度が始まり、6常任委員会、3調査特別委員会が始動し、私は6年振りの総務常任委員会と、初めての大都市行財政調査特別委員会では副委員長を務めることになりました。

総務常任委員会では、市長政策室・総務局・環境局・選挙管理委員会・人事委員会・監査委員を所管し、市長政策室では芸術の森、市立大学、総務局では国際プラザ、環境局では清掃事務所、エコエネルギー、公園緑化、円山動物園など幅広く担当します。

二期目も折り返しとなった今年度も、市民の代表であり、代弁者として、なお一層精進してまいります。皆様の声をお聞かせいただければ、幸いです。

### Q：議会基本条例とは？

A：地方議会の理念や運営の基本原則を定めた条例で、札幌市議会では、議会と議員の役割を明確にして、開かれた議会に向けた取組を規定しました。また、災害時の議会の役割など他自治体にはない独自の規定を盛り込みました。

### Q：公契約条例とは？

A：官製ワーキングプアの解消をめざし、市発注事業の受注業者で働く労働者の賃金下限を定めるもので、予定価格が5億円以上の工事や1,000万円以上の業務の受注業者が対象になります。



3.1 予算特別委員会 消防局質問

### 視察報告 (4.10) 佐賀県武雄市

#### 市立図書館の民間委託で利用者視点の運営



武雄市立図書館はTSUTAYAを運営しているカルチャー・コンビニエンス・クラブ(株)を指定管理者として、4月にリニューアルオープンした。開館1週間の来館者数、図書貸出し数は前年比658%、279%。

図書館には販売、レンタルコーナー、スターバックスカフェが併設されており、コーヒーの香りが漂う。前面の蔵書には雑誌が多く採り入れられており、従来の図書館とは全く異なるが、徹底したマーケティング調査を実施した結果である。

画期的なのは、ジャンル改革がある。従来の図書館は十進分類法で図書分類を行う。書店で家庭菜園の本を探すと趣味のコーナーにあるが、図書館では産業に分類されており、探しきれないことがあるが、武雄図書館では通常の書店の考えに基づいており、目当ての図書はすぐに探すことができる。これは利用者の知的探究心をくすぐり、図書館を敬遠していた人にとっても、図書館のイメージを身近にする。

樋渡市長自ら、今年度最初の視察となった私たちに熱心な説明をして下さり、図書館に対する想いの深さを知ることができた。札幌市においても、北1西1に計画されている市民交流複合施設に、ビジネス系図書館構想があり、あり方は大いに参考になった。



樋渡市長と武雄図書館

### 視察報告 (4.11) 山口県山口市

#### 情報芸術の発信はYCAMから



山口情報芸術センター (YCAM) は、市立図書館、展示スペース、劇場、ミニシアターなどを併設する複合施設として2003年にオープン、コンピューターや通信技術を駆使したメディアアート作品の展示、演劇、映画上映など、新しい情報芸術のプラットフォームとして、地域と世界を結び発信している。特徴として、既存の優れた作品の紹介のみならず、オリジナル作品を制作・公開しており、アーティストが山口に滞在し、YCAMのスタッフとコラボレーションし、表現の可能性を探求している。



今年11月に10周年を迎えるYCAMは7月から12月までアート・環境・ライフを中核に記念祭を開催、総合ディレクターに札幌国際芸術祭ゲストディレクター坂本龍一氏が就任し、準備を進めている。

2014年7月から札幌国際芸術祭を開催するにあたり、足立館長から、市民のニーズを受け止め、実現できるスタッフの育成、世界的な視野を俯瞰していくことの重要性などアドバイスをいただいた。

札幌国際芸術祭は、北海道立近代美術館、札幌芸術の森美術館をメインに、札幌の環境を活かし、市民の創造性を育む様々な取り組みとなるよう、強化していく必要がある。

## 予算特別委員会 質問ダイジェスト

### 1・消防局「救急出動件数の増加」

2012年中の救急出動件数は、札幌市が1958年に救急業務を開始してから、これまで最多の83,277件となり、193万人の札幌市民の昨年25人に一人が救急車を利用したともいえる。この10年で救急搬送者数に占める高齢者の割合は、3分の1から、約半数に増加しており、暑さや寒さなどの気象状況、インフルエンザやノロウイルスなどの感染症の影響を受けやすく、急速な高齢化の進展に伴い、救急要請が集中する事態に拍車が掛かるのではないかと懸念されている。救急出動件数の増加する中、いかに適切な救急サービスを提供することができるのかという問題は、非常に重要かつ喫緊の課題であるが、今後の救急体制について、どのように考えるのか？

答弁：救急要請集中時も、サービスを延伸させないことが必要で、4月から全て3部制勤務とし、10月からは車両動態致システムの導入をするなど、日中を手厚い弾力的な運用を行っていく。

### 2・「さっぽろ救急サポーター事業」

AEDを含めた心肺蘇生法は、市民や会社の同僚などが、バイスタンダー（救急現場に居合わせた人）として実施することが、救命率や社会復帰率の向上の大きなポイントとなる。昨年3月末の総務省北海道管区行政評価局発表では、札幌市内のAEDの維持管理状況について、125施設を抽出調査したところ、16施設で、バッテリー切れや電極パットの期限切れがあり、緊急時に正常に使用できない恐れがあることが指摘され、消防局では、すべての参画施設に注意喚起を行っているが、参画施設において応急手当を行う従業員への再講習の案内等、ソフト面の働き掛けも大切。「救急サポーター事業」は、参画施設の善意で成り立っている。消防局が維持管理や救命講習について、指導権限等を持っていないが、今後もこの事業を維持・継続していくためには、何らかのフォローアップが必要なのでは？

答弁：認識しており、5年ごとの新たなガイドラインの改定に合わせて救命蘇生の見直しや維持管理の再講習等を行っていく。

### 3・危機管理室「避難場所にかかわること」

基本計画では月寒断層による避難者数約11万1千人を計画の前提としており、「第3次地震被害想定で区別の被害想定」があるとのことだが、この被害想定は、2010年に策定された現在の地域防災計画の基本的かつ重要な部分であるので、十分に理解しておかねばならないことだが、第3次地震被害想定とは、札幌市の独自の想定なのか？

答弁：将来、札幌市で発生する可能性の最大級の被害をもたらす地震を想定、過去の液状化跡などから推定した札幌直下型の伏在活断層3つと石狩低地東縁断層帯、苫小牧沖プレート型を想定している。この震源に対し、人的、物的被害及びライフライン被害について、積雪・寒冷の影響を考慮している。



### 4・環境局「太陽光発電普及事業」

新エネ省エネ普及支援事業である「札幌・エネルギーecoプロジェクト」については、2012年度は予算を増額した結果、これまで以上に多くの市民が利用出来たことで、省エネ機器への転換や新エネ機器の普及が進んでいる。特に、太陽光発電設備の申し込みが大幅に増えており、市民の新エネルギーへの関心が年々高まってきており、これに伴い太陽光発電の関連事業者等は受注機会が増え、経済効果も高くなっている。一方、大幅な予算の増額にも係わらず、年5回の募集期間のほとんどが抽選となっており、希望する市民にとってはまだ十分な支援制度とはなっていない。今年度の「札幌・エネルギーecoプロジェクト」の応募状況、特に太陽光発電の普及見込みと、想定される経済効果はどうか、又太陽光発電推進マッチング事業の目的は？

答弁：市民・事業者とも6回の応募で、市民は1.4倍、事業者1.8倍となり、太陽光では971件4,050kw、

経済効果は補助金の10倍以上約30億円となる。

新年度は今年度の1.4倍4,000件を想定している。

マッチング事業は、民間遊休地、民間建物の屋根などに対する普及促進を図り、所有者と発電事業者情報を登録、情報共有を図り、セミナー開催等情報交換の場を作る。

### 5・教育委員会「児童・生徒の命を守る」

厚生労働省の調査では、2011年にアナフィラキシーショックで亡くなったのは全国で5人。アナフィラキシーショックで命を救えるかどうかは、いかに迅速にエピペンを打つかにかかっているとされており、周囲が使い方を習得しておくのは不可欠。エピペンの保管場所は、職員室を中心に、様々なところに保管がされているが、全教職員が一目でわかる場所に、しっかりと表示をして保管すべきと考えるが？

答弁：全職員が一目で分かる場所に保管し、わかりやすい表示の必要性は認識している。利便性と安全性を考慮し、最善の保管方法の検討と定期的な確認を行うよう指導・助言を行う。

質問にあたり、全校に調査したところ、12校がエピペンを保管していた。更に聞き取りの結果、3校は職員室で表示をされており、9校は未表示だった。理由は表示をすることで子ども達がいたずらや、気にするのであえてしないとの答えや、対象生徒が少なく、事前に教職員間で校内周知されているとの答えもあった。しかし、表示をおこなう学校の理由は「誰にでもわかるから」、表示することのリスクよりも誰にでもわかるメリットをとっていると考えられ、対象全校には同じ認識を求めます。

### その他 質問項目

- ・NPO法人の条例個別指定制度
- ・市民と共に学ぶまちづくり推進研修事業
- ・女性の社会参加の推進について
- ・不登校対策について
- ・HACについて
- ・情緒障がい児短期療養施設について

## 《しのだ江里子のつれづれ日記》



5.1メーデー

4.11 佐賀ゆめぎんが



2.26 財政市民委員会 委員長報告



2.25 伊達バウムハウス

皆様のご意見をお寄せください

### しのだ江里子事務所

〒065-0024 札幌市東区北24条東16丁目1-7  
グロバリビル2F (元町駅1番となり)  
Tel: 011-784-1086 Fax: 011-792-0081  
E-mail: eriko1950@beige.plala.or.jp  
URL: http://www.shinoda-eriko.com

### “しのだ江里子のつれづれ日記”

毎週金曜日 午前10時から30分間放送中  
(コミュニティFMさっぽろ村ラジオ 81.3メガヘルツ)